

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

京都 仙洞御所 二條
桂 修學院 離宮
御寫真及實測図集

集三第

始



京都 御寫眞及實測圖集

第三集 目次

桂離宮 中門
 御幸御殿御與寄の前に中門あり、これをいれは、遠州眞の敷石あり、門内の結構は可なり、改修せられたりと考へらる。

御與寄
 中門より撮影したり。眞の敷石より二三階を上りて六つの音石あり。右方に方形の手洗を見るべく、その右方に附屬舎なりとす。

御庭口
 中門より眞の敷石を左折して御庭口あり、圓は附屬舎より撮影したり、圓部形燈籠に稚櫻を添へ植にし、刈込を透して月波樓を見せし。

古書院 杉戸 虎繪(狩野永徳)
 第二集 兎繪杉戸の表なり。

中書院 一の間 床
 二の間のより撮影せり、正面床一間、墨畫山水の張附は狩野探幽繪とす。間間板は神代木、縁は黒呂塗なり。一の間は襖襖共に山水繪を以てせるより、一に山水の間といふ。

同 床脇棚
 床の右方に御あり、同じく探の筆とす。參棚小櫛は竹笑管水仙菊、櫛下敷付は水邊樹木に宿鳥にして名物なり、世に三屏よりなしといふ。櫛脇。付に龍見の李白とす。

同 三の間 床
 三の間のすべて狩野安信の繪なるを以てて雪の間とも云ふ、正面床一間、雪持竹に雀、墨畫なり。

同 三の間 襖(狩野安信)
 雪持竹に雀、墨畫なり。

中書院より新書院を見る
 前なる軒は中書院よりの渡廊に、次なる軒は新書院なり、開け放したる新書院の中に凸形の彫形ある障子は一の間書院窓にして柱間のある所とす。

御幸御殿 西側立面
 第一集の16 第二集の1と共々西方の全側面を撮影したり。

同 月波樓 露路
 古書院廣縁より月波樓への露路なり、配石の一般を見るべし。

同 東側立面
 第二集 9と反対の側面なり、破風下に月波樓の扁額あり。

同 御庭中島より御殿を見る
 「此殿の有様御庭より見れば舟形のごとくにて、御古書院より御幸御殿まで段々に雁行のやうに」と古書に記せることなり。

同 御庭中島 塔
 さながら御庭を中心なるが如く一基の古塔あり。

仙洞御所 醒花亭 實測圖 第六 南側立面
 第七 天井
 第八 屋根伏
 第九 茶室内部

會報

○會員消息 (本報御利用は、東京府下大井町會田二二六九へ、淺野利吉君(務居) 白鳳社建築工務所へ、渡辺 雄君(務居) 東京府四多摩郡大久野村岩井後高橋新吉君(同) 野セントへ)

○第三集から毎月廿五日發行を勵行する様に手配しましたが、昨今の天候はコロタイブ製版の厄日續きで、又一兩日は遅れやうかと考へられます。

○第一集が出来るとすぐ堀越三郎氏から寫眞のゆがみに對して御注意があつた、丁度其際レンズを改めた希望もあつたので、早速専門家の意見を聞いてカアルザイス社の鏡玉を求め且つ一々原板を調べ多敷重のあるのを廢棄した。

○桂離宮實測からは此鏡玉を以てし、同行の大岡氏から八釜 く云はれたおかげで可なりな原板を得ることが出来た。

○七月、大岡實、足立康兩氏の助力を得て桂離宮實測、御幸御殿だけを二週間で済ませた、三人共大わらはで、四十餘枚の製圖をした、東京で墨入をして第四集あたりから出して行く積りです。

○實測中京都帝大の武田先生が十數名の學生をつれて來られた、この夏休中に松琴亭と月波樓の實測をされること、それからは毎日十餘の人々が同じ離宮内で同じ様な仕事をされてゐた、こちらの三人がいかにみすばらしい様でした。遊びにゆくと云はれた藏田周忠氏は朝鮮行で來られない、小人数の心細いとき木

戸竹島兩氏の手紙など、うれしい旅窓の慰めであつた。

○御殿がすんだので、他の御茶亭を後日に殘して、足立氏と奈良を周つて歸京。

○配本集金は随分骨が折れるさうです、この方面は従業員一人の豫算にして置きましたが、とても廻り切れないとコホして居ます、一軒の御宅へ四五度も行くに申します、これからは遠方の方々へは配本豫定日を御知らせして置いて、それから出掛ける様に致させますから、なるべく一度ですむ様に御願ひ致します。

○それから代金引換で送本しろといふ御申込もありましたが、定價で賣買を許されなものを代金引換は如何でせう、それに運賃以外引替料の豫算が無いから、これは御免を蒙ります。

○成るべく安く頒布する主張から、只今のところでは、コロタイブ印刷の同種プリント中で一番安値といふ噂です、どうかこれで終始したいと存じます、會員諸君の御高援を願ひます。

○奈良を巡つた收獲は、『古建築及庭園圖集』として第一に『當麻寺』を發行し順次仕事の都合を見て他の分もまとめて出して行く考です。御觀賞を願ひます。

○第四集は九月二十五日に出します、桂離宮の古書院中書院を吹終つていよいよ新書院にうつります、後水尾上皇の御幸を待つために造られた最善のものです。

○寫眞と實測圖との數は、1000位の割合で出して行かうと思ひます。

(昭和三年八月・川上邦基)

昭和三年八月二十六日印刷
 昭和三年八月三十日發行

東京府荏原郡松澤村赤堤五二四番地
 古建築及庭園研究會

川上邦基

編輯發行兼印刷者
 東京市外松澤村赤堤五二四番地

發行所

古建築及庭園研究會

振替東京六九三四番

注意
 本圖集は定價を以て賣買する事を禁ぜらる。
 收輯の圖版は宮内省の御許可なく轉載複製又は改竄轉寫する事を得ず。(尙著作權者の同意を要す)

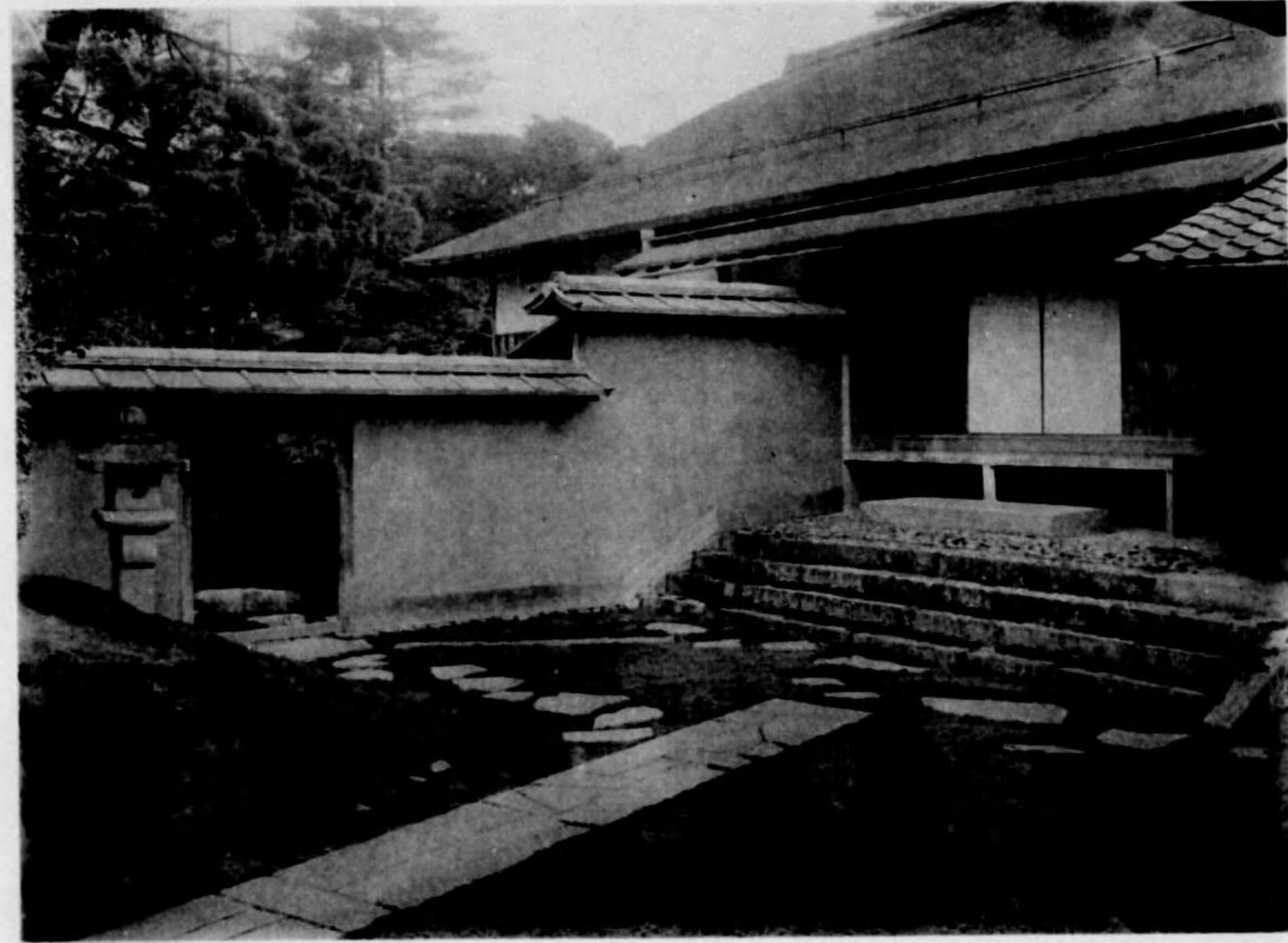


住居 中門
Entrance of the Kōtōin Estate

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



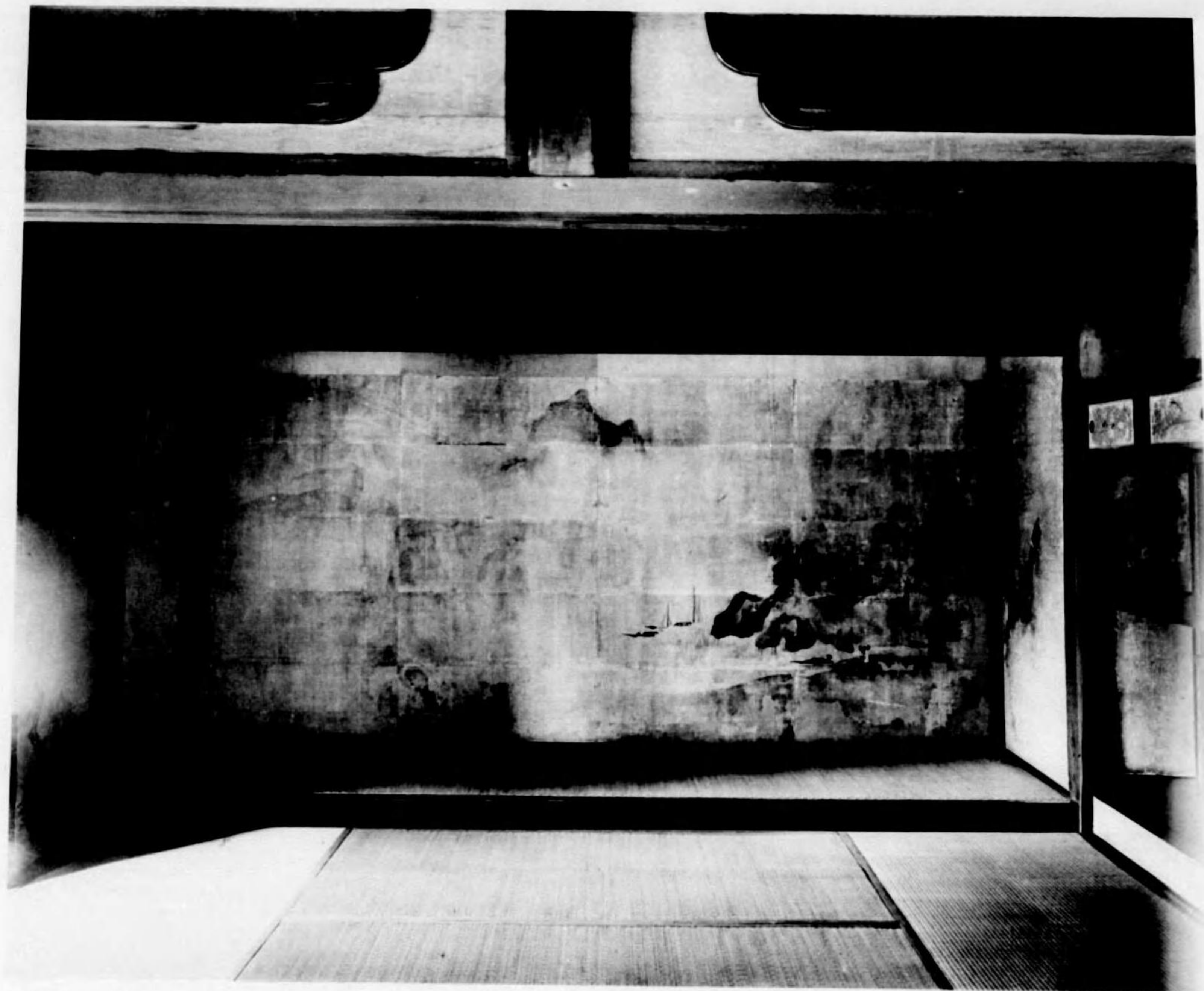
和歌山 御寺
Porch of the Gokko-ji, Rinsen Daisho-ji



桂離宮 御幸御殿 御幸御殿前庭
Garden entrance before the porch of the Gōkyū-goten, Katsura Detached Palace.



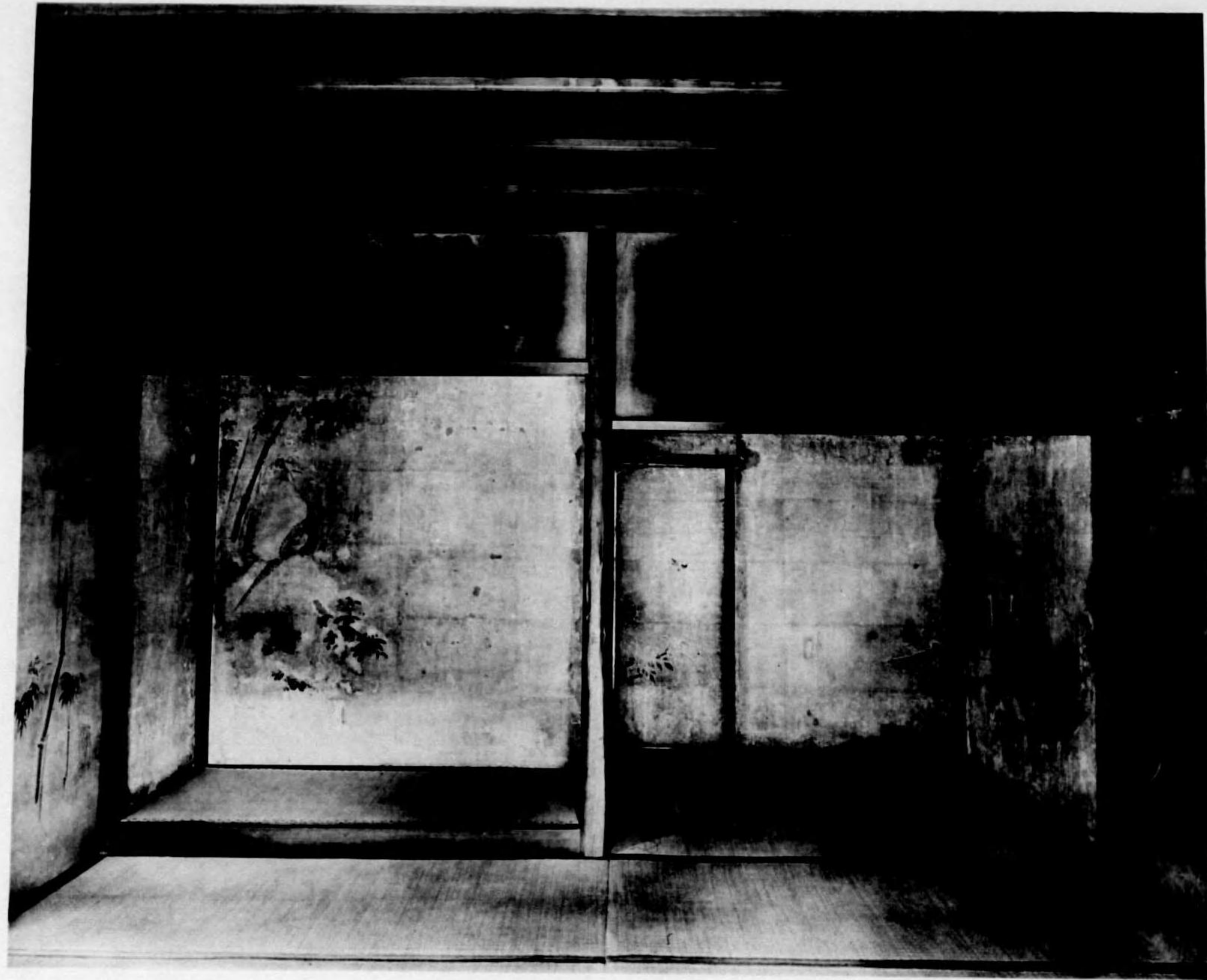
柱廊内 古吉院 杉戸 或繪 狩野永徳
Wooden stair with picture of figure, by Sesshū Tōkoku, in the Koshin of the Katsura Detached Palace.



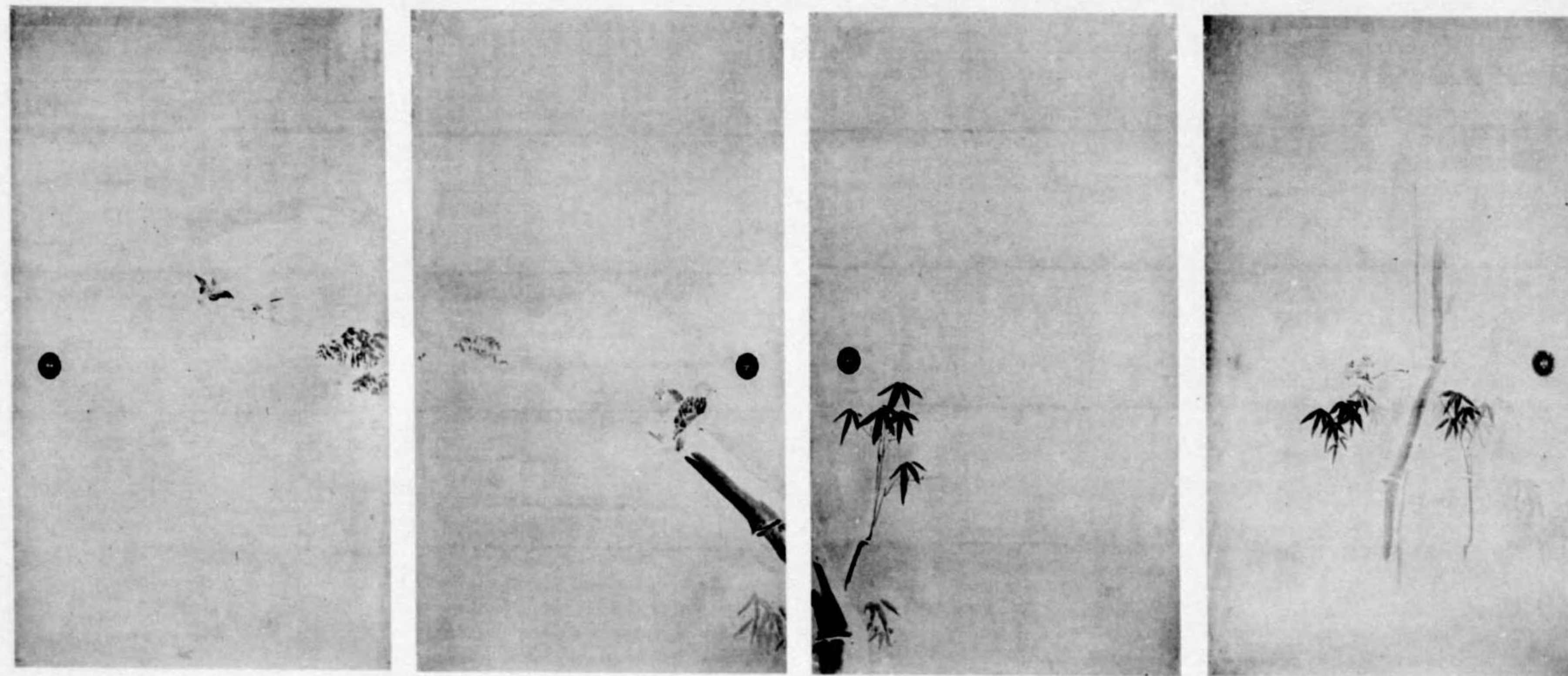
白黒写真 中庭 一ノ宮 白黒写真
Alcove of the first court, Chidōin, Katori Detached Palace, pictures by Kōshō Tani 26



118 图 118
854. detail of the above, Ch'ing-shan, K'ang-ni Detached Palace.



狂歌酒 中五段 三ノ間紙 (特別展)
Aloko of the third room, Chishaku, Katana Detached Paper (picture by Kato Yasuhide)



林園画 中表院 三ノ間襖 竹に鳥物 (役所安松)
Sliding doors, painted by Kanō Yumoto, in the third room of Chi-shōin, Katsura Detached Palace.



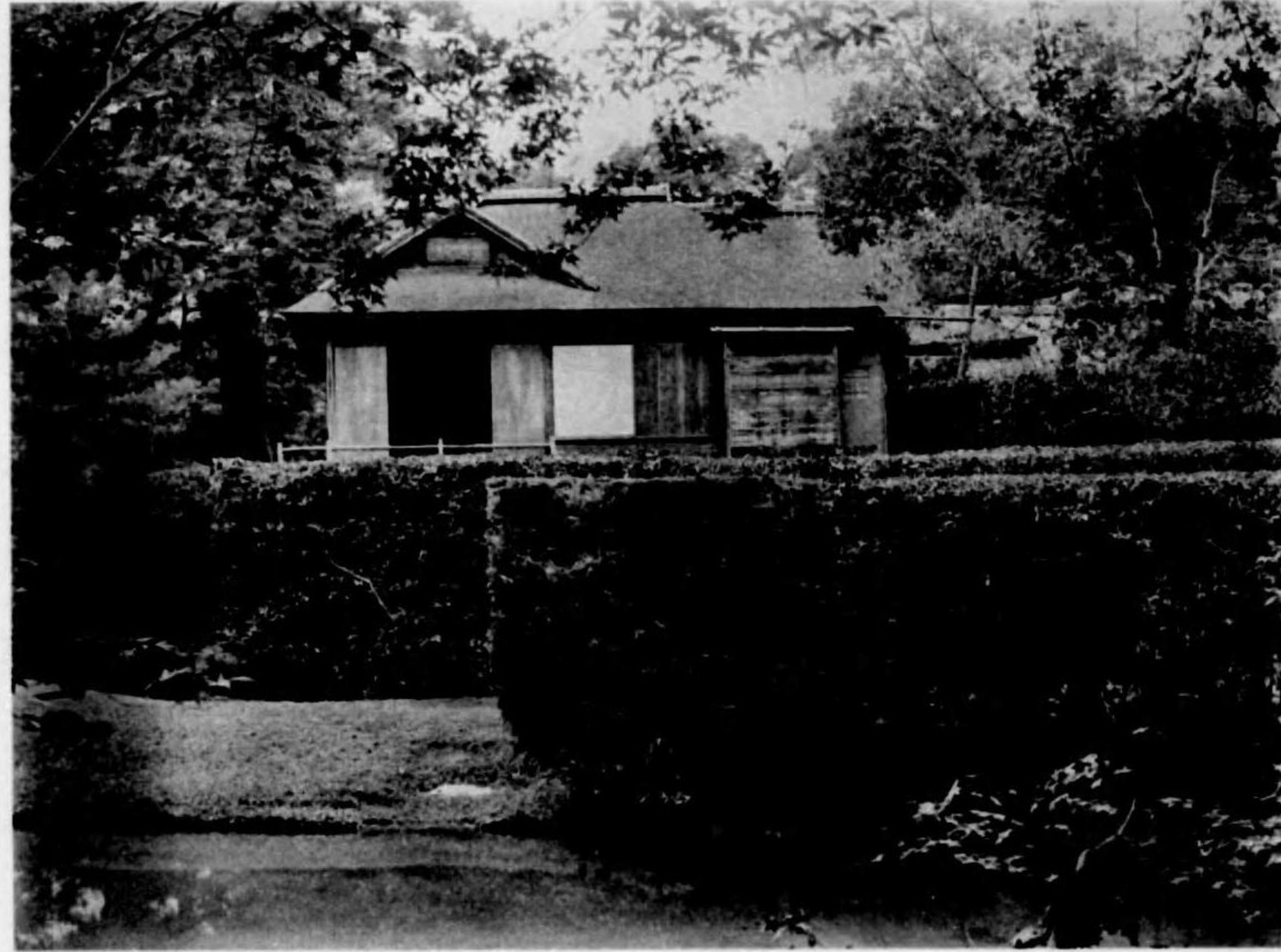
白旗宮 中尾院より白旗院の見た
View of Shiroshoin from Chioshoin, Katsura Detached Palace



村屋文 御宇御世 尚早也
General view (outside) of Ginkō-ya, Kan'no Detached Palace.



PLATE II INTERIORS
Stepping stone to the (upper), Katsura Detached Palace



1882 144 1882
General view from City of Geyuan, Kaitang Detached Palace.

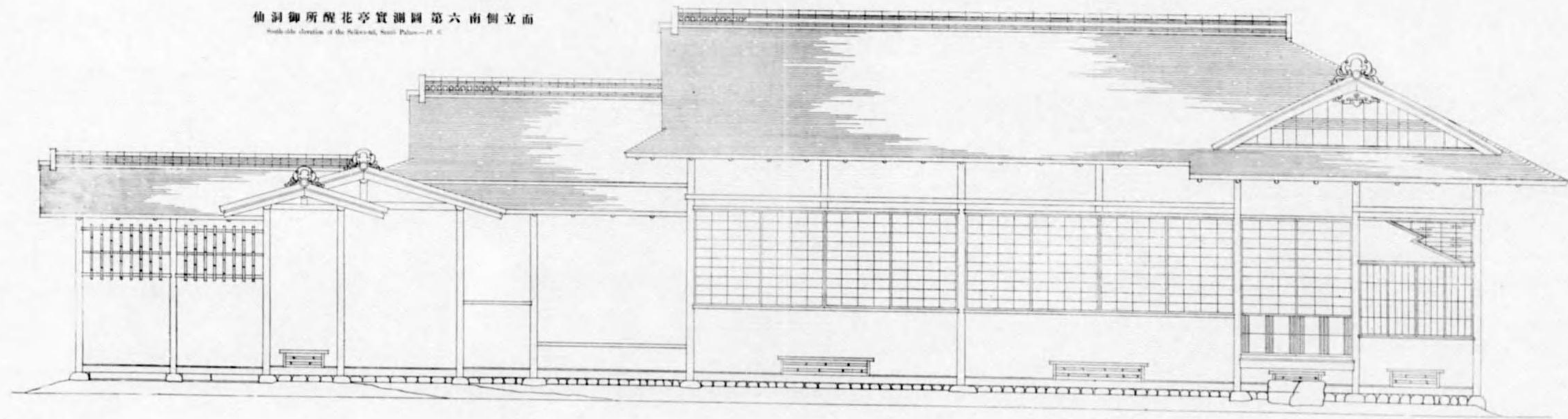


皇宮 寛政寺の御所
General view of Gokurōden from the side of pond, Kōmei Temple Palace.

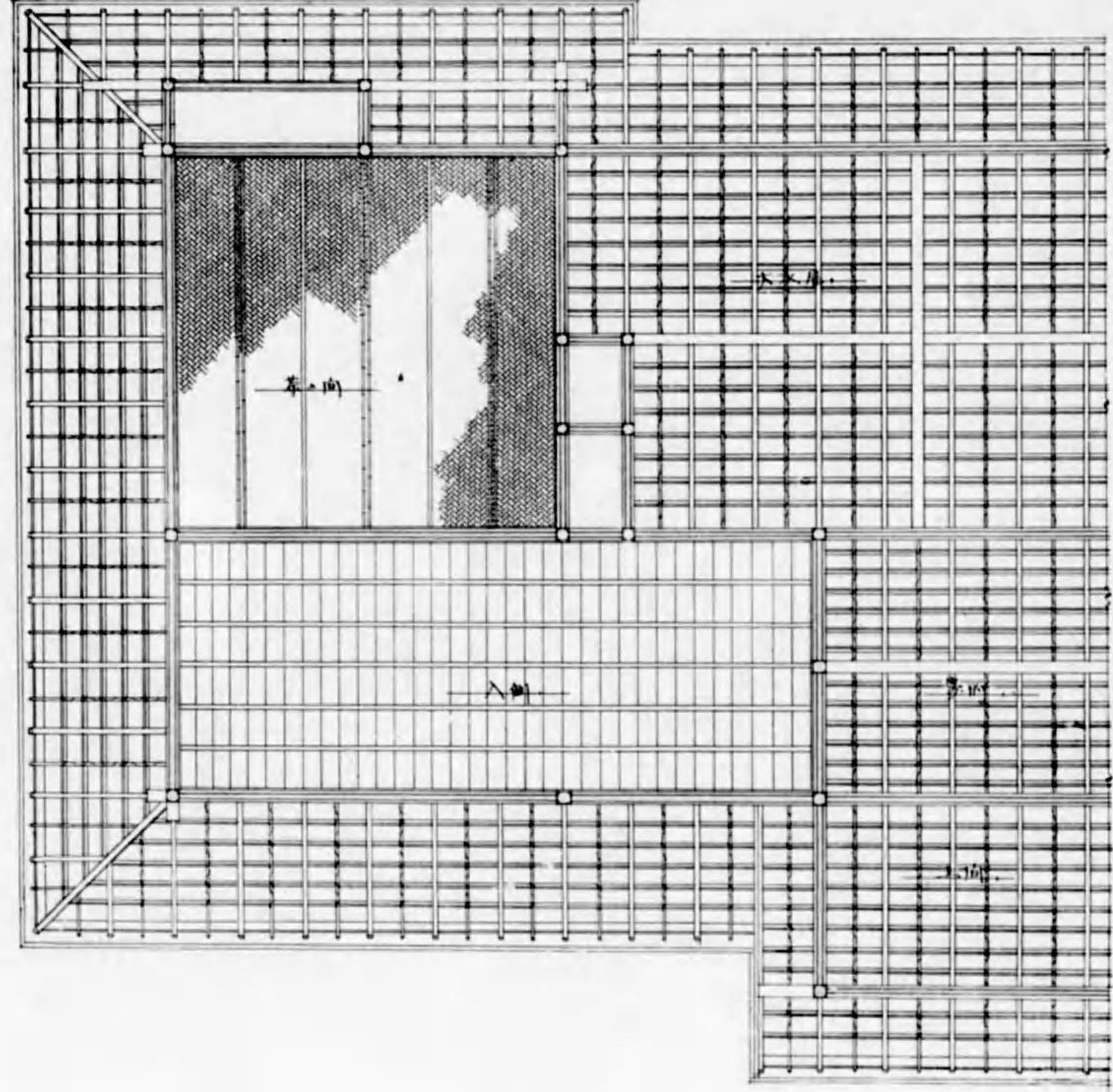


FIG. 26. 26. 26. 26.
Stone steps at the left of pond, Kenner, Det. and T. det.

仙洞御所櫻花亭寶湖園第六南側立面
South side elevation of the Sakura Pavilion, Sennin Palace—Pl. 6



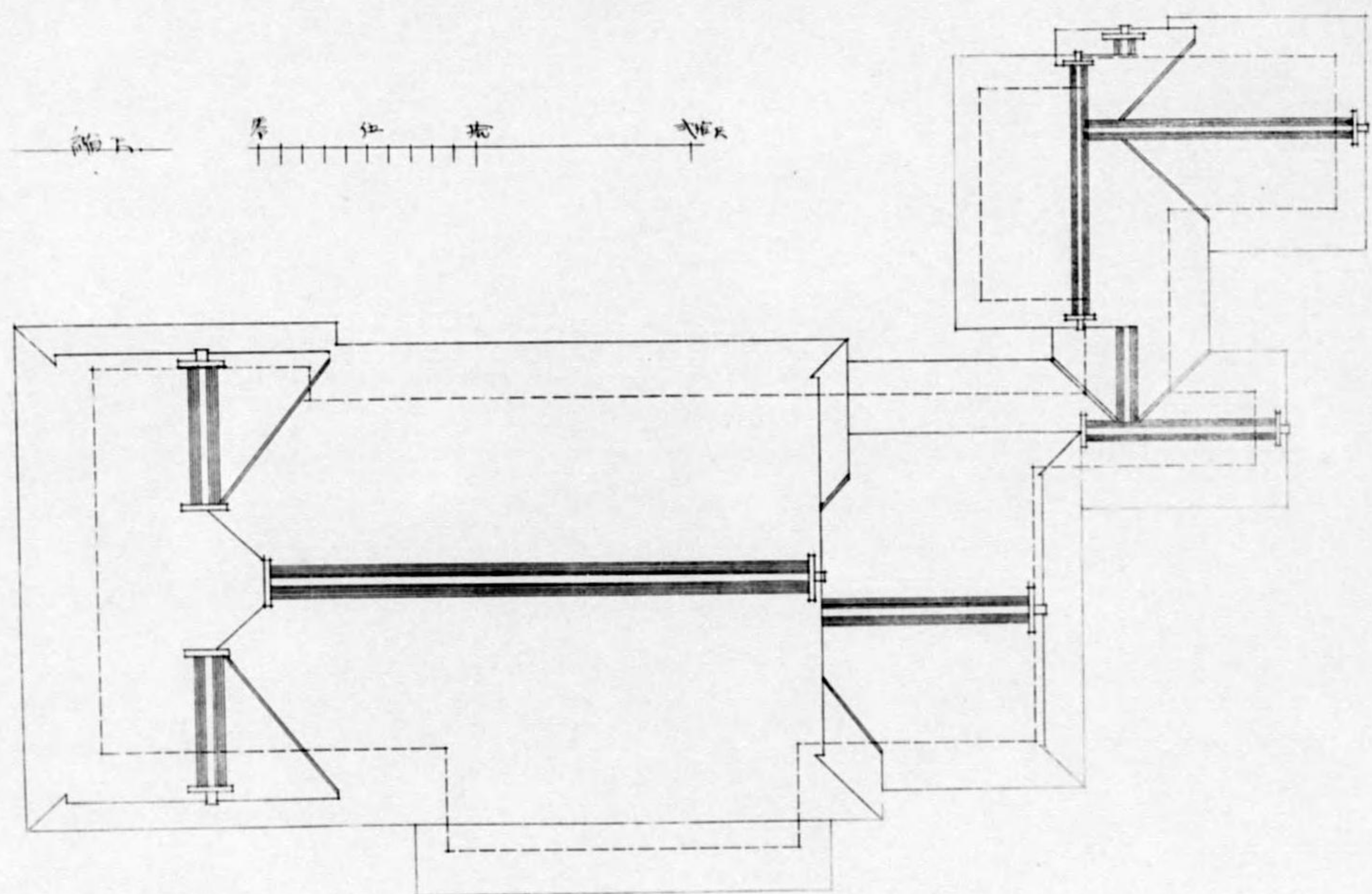
米 縮尺



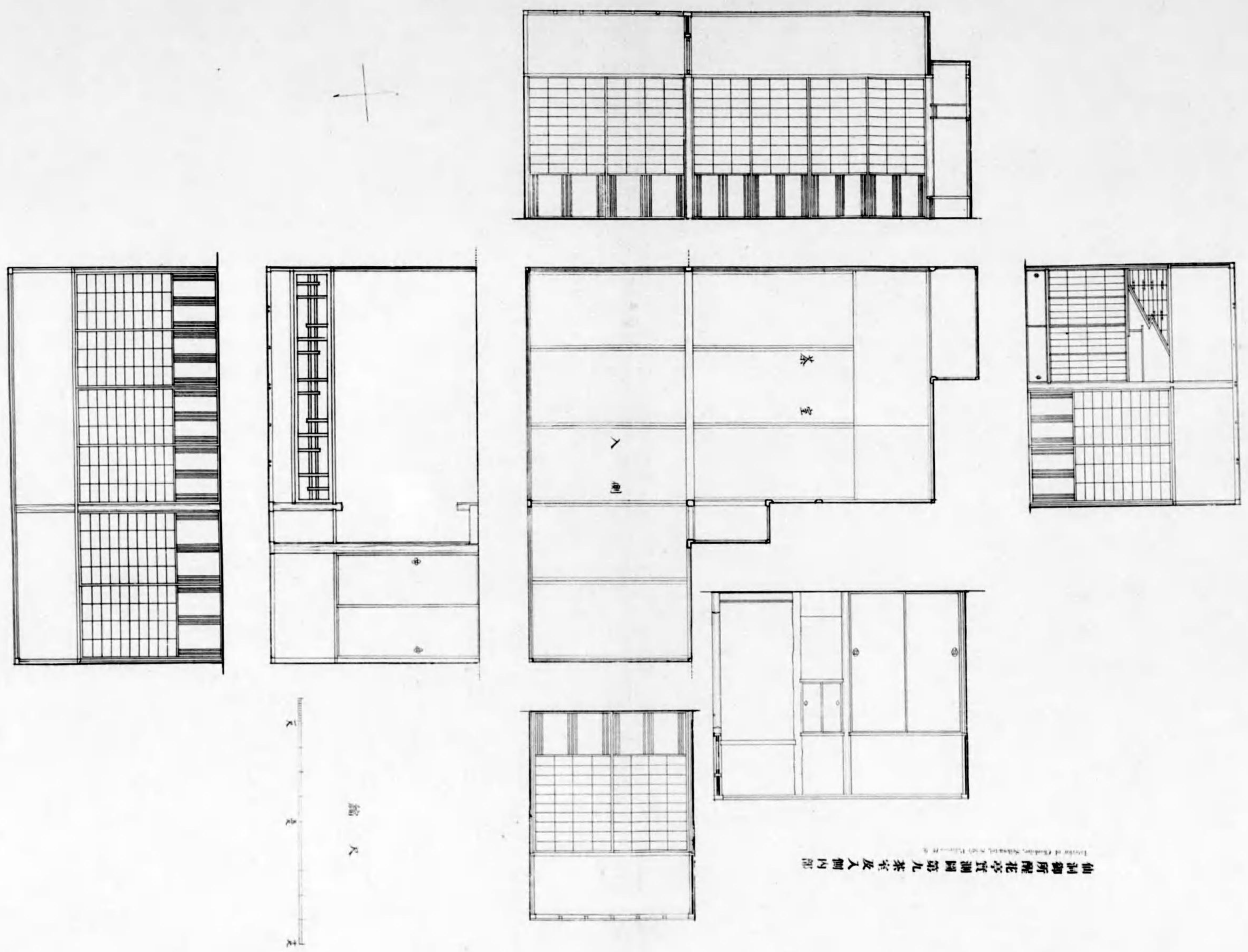
仙洞御所南花亭實測圖第七天井伏
Copy from the original woodblock print.

仙洞御所醒花亭實測圖第八屋根伏

Half plan of the Sakurachi, Kyoto Palace—Pl. 8.



仙洲御所櫻花亭其通圖第九茶室及人側內部



終

